

<p>書名 項目</p>	<p style="text-align: center;">新編 新しい理科</p> <p style="text-align: right;">2 東 書</p>	
<p>教育基本法、学校教育法の下、小学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり</p>	<p>○問題解決の力を確実に身に付けられるように、他教科との関連も考慮して単元配列を考えたり、内容を2つの単元に分けたり、児童に理解しやすい実験材料を使うなどの内容の取扱い方を工夫している。</p> <p>○自然のすばらしさを感じさせる写真や教材を豊富に取り上げ、自然を大切にする心情を育てようとしている。</p>	
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">特色</p>	<p style="text-align: center;">内 容</p>	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫> ○観察、実験の結果と、その結果からわかることを区別して示してある。さらに、問題に対応した答えを箇条書きでわかりやすく示してある。「観察、実験」と「結果」「まとめ」を見開きにならないようにしてある。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫> ○言語活動を活発に行えるように、吹き出しの中に考える糸口や手立て、視点を明示している。思考力・表現力を高めるために、導入の内容や身近な生活事象を説明する場面を設定している。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫> ○整理・考察・発表の場面で、ノートや記録カードの例、板書の例を豊富に取り上げて、児童に取り組みやすくしている。</p> <p><見通しをもって観察、実験などを行うための工夫> ○観察、実験の結果をグラフや表に整理したり、クラス全体の結果をまとめたりして、考察できるようにしてある。また、整理、考察、発表の場面では、ノートや記録カードの例や板書の例を豊富に取り上げている。</p> <p><実感を伴った理解を図るための工夫> ○学年や単元をまたがった内容について、知識をまとめたり活用したりして学習のつながりや理科の有用性を理解しやすくしている。全国学力・学習状況調査の活用問題の主な枠組みに基づいた問題を掲載している。</p> <p><科学的な見方や考え方を養うための工夫> ○ノートの書き方や話し合いの仕方など、言語活動に関わる内容を各学年に掲載して、記録や話し合いの方法が身に付くよう配慮してある。</p>
	<p style="text-align: center;">資 料</p>	<p>○児童の人権に配慮し、性別、国籍、障がいの有無に関わらず、児童が協力し合って、楽しく活動を行う様子を掲載している。</p> <p>○実物大の写真や拡大図、イラストが効果的に掲載されている。</p> <p>○巻末には「理科の調べ方を身につけよう」として、器具の扱い方等が安全の視点を中心にまとめている。</p>
	<p style="text-align: center;">表記・表現</p>	<p>○読みやすく文章の意味を理解しやすいように、単語や文節で改行している。小さな文字はゴシック体を用いて見やすくしている。</p> <p>○ふりがなには、読みやすいユニバーサルデザインフォントを使用している。</p>
<p style="text-align: center;">総 括</p>	<p>巻頭で問題解決の流れを児童に理解しやすいように説明している。学習過程をラインを使って表し、さらにタイトルを大きく示してある。単元末のまとめでは、資料が豊富に掲載されており、観点別評価にも役立つ問題のページを設定してある。</p>	

<p>書名 項目</p>	<p style="text-align: center;">新版 たのしい理科 4 大日本</p>	
<p>教育基本法、学校教育法の下、小学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり</p>	<p>○見通しをもって学習に取り組み、問題解決能力の育成を図るために、学習の過程を工夫したマークを使って示している。科学的な見方や考え方の育成のために、考察場面として、「考えよう」「確かめよう」「学んだことを生かそう」を設定している。</p> <p>○単語や文節で改行して文章の意味を理解しやすくして、多様な児童の特性に配慮をしている。</p>	
<p>特 色</p>	<p>内 容</p>	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫></p> <p>○「わかったこと」と科学用語の定義、関連した大切な内容を枠囲みして、重要な内容であることを明示している。器具の使い方を「観察・実験」と同じ見開き紙面に配置してある。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <p>○「考えよう」の場面で科学用語や科学的な概念を使用して考えたり説明をさせたりしている。「予想しよう」の場面で自分の考え方を伝えたり、人の意見を聞いたりする情報交換の場面を設定している。また、観察カードやノート例などを数多く掲載している。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <p>○学習意欲を喚起するために、動物・植物シートやシール、星座シートなどを付録としている。また、資料で科学館などの施設を紹介したり、科学者の言葉を掲載したりしている。</p> <p><見通しをもって観察、実験などを行うための工夫></p> <p>○「問題マーク」「予想マーク」「計画マーク」「観察・実験マーク」「考察マーク」「結論マーク」などを使って、既習事項や生活体験をもとに予想や仮説をもち、観察・実験の計画や方法を考えて学習に取り組めるようにしている。</p> <p><実感を伴った理解を図るための工夫></p> <p>○実感を伴った理解ができるように、児童の創意と工夫の伴う創造的な活動を取り上げている。科学者や技術者の功績などを資料で積極的に紹介している。自然災害の危険性や災害を防ぐ工夫を理解して、災害時に自分取るべき行動を考えることができるように配慮してある。</p> <p><科学的な見方や考え方を養うための工夫></p> <p>○考察場面や単元末で、科学用語や概念を使用して考えたり説明したりする学習を通して、科学的な見方や考え方を高めようとしている。</p>
	<p>資 料</p>	<p>○問題解決の各過程を大きな文字で示し、学習の流れが一目でわかるようなレイアウトにしている。</p> <p>○配色や色に関する表現に配慮して、すべての児童が支障なく学習できるようにしている。</p> <p>○関連する中学校の内容を「発展的な学習」として取り上げてある。</p> <p>○「別の○○」として、学習を深める別の方法等が掲載されている。</p>
	<p>表記・表現</p>	<p>○見やすく読み間違いにくい活字を使用している。</p> <p>○様々なマークを使い、さらにマーク類には意味が一目でわかるように文字が付けてある。</p>
<p>総 括</p>	<p>巻頭に問題解決能力を踏まえた学習の仕方を「理科の学び方」として紹介しており、各学年で問題解決の活動を無理なく繰り返すことができるように配慮してある。自由研究についても問題解決の過程の具体例を紹介しており、参考にしやすい。</p>	

<p>項目</p> <p>書名</p>	<p>みんなと学ぶ 小学校理科 11 学 図</p>
<p>教育基本法、学校教育法の下、小学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり</p>	<p>○学習内容に関わる写真や図を提示したり、児童が活動している写真等を提示したりすることで児童自らが意欲的に問題に取り組めるよう配慮している。</p> <p>○ページの脇に活動の順序が示されていて、児童が見通しをもって、学習できるよう配慮されている。</p> <p>○単元末のまとめでは問題に取り組みせ、分からなかった場合はどこに戻ればいいのかを示して振り返りが行いやすいように配慮している。</p>
<p>特色</p>	<p>特 内 容</p> <p><基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫></p> <p>○各学年とも、実験器具の使用方法等が巻末に掲載されていて、確認しやすくなっている。また、重要語句については太字表記され、注意を引くようになっている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <p>○観察カードを書く際には、絵だけでなく写真を使ってまとめる方法も掲載されていて表現方法の多様性が示されている。また、教科書紙面と連動させたノート例を充実させ、自分の考えなどのまとめ方を明示している。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <p>○キャラクターに発言させるなどして、児童が主体的に思考できるような工夫をしている。また、どの単元も疑問、予想、観察・実験、結果、考察、まとめの流れを踏襲し、紙面の両サイドに示されている。</p> <p><見通しをもって観察、実験などを行うための工夫></p> <p>○紙面の両サイドに学びの流れが表示されているので、次に何を行うのか見通しをもちやすくなっている。また、単元のはじめに、「思い出してみよう!!」のコーナーがあり、既習事項との関わりを明示している。</p> <p><実感を伴った理解を図るための工夫></p> <p>○生活や社会とのかかわりを示して学習内容に関連した資料を掲載している。このことにより科学が生活や職業と関わっていることが理解できるようにしている。</p> <p><科学的な見方や考え方を養うための工夫></p> <p>○単元の最初に今まで学習した内容を振り返るコーナーを設けて系統を意識させている。また、考察の視点を示してどのように考察を行えばよいのかわかるような工夫がみられる。</p> <p>資 料</p> <p>○各学年の巻末に学習方法を明示した「考えよう・調べよう」を掲載している。</p> <p>○「読み物」のページやコーナーを多く掲載している。</p> <p>○資料写真を多く掲載している。</p> <p>○資料として、科学者など科学史に関する資料を多く取り上げている。</p> <p>表記・表現</p> <p>○課題文は地の文と異なり、青い文字で示されている。</p> <p>○本文は敬体で記され、重要語句は太字で記されている。</p> <p>○マークを統一して一目でわかるよう工夫されている。</p>
<p>総括</p>	<p>○器具の使い方等、複数の学年にまたがって繰り返し提示して、定着を図る工夫がみられる。</p> <p>○観察・実験で安全に対する配慮が必要な場合は、赤文字で「きけん」と記している。</p> <p>○防災に関わる項目ではマークをつけて明示をし、「まず自分の命を守ることが一番大切である」という観点から構成されている。</p>

<p>項目</p> <p style="text-align: right;">書名</p>	<p style="text-align: center; font-size: 2em;">未来をひらく 小学理科</p> <p style="text-align: right; font-size: 1.5em;">17 教出</p>	
<p>教育基本法、学校教育法の下、小学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○大きくきれいな写真や図を用いて自然事象を提示したり、学習の動機付けとなる活動「やってみよう」を設けたりして児童が興味関心をもてるように配慮されている。 ○巻頭には前学年で学んだ内容を示したり、学習過程を明示したりし、系統的に学んだり主体的に問題解決したりできるよう配慮されている。 ○児童が習得すべき基本的な知識は「わかった」マークで明示したり、学習の後に「学んだことを使おう」を設けたりして実感を伴った理解のために配慮されている。 	
<p style="text-align: center;">特色</p>	<p style="text-align: center;">内容</p>	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○巻頭に前学年で学んだことが示されていたり、キャラクターが観察・実験の留意点を示していたりする。また、「きけん」マークで安全に配慮するとともに、「確かめ」のページで、基礎・基本の定着を確認できるよう工夫されている。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「はてな？」など思考の流れを分かりやすく示したり、話し合う場面を吹き出しで示したりしている。また、ノートの使い方の例示があり表現力が育成されるような構成になっている。 <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○単元の始めには美しく大きな写真で児童の関心を引きつけたり、単元によっては「やってみよう」で児童の興味を引きつけたりしている。また、巻頭には「学習の順序」が示されていて、児童の主体的な学びを助けている。 <p><見通しをもって観察、実験などを行うための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「はてな？」から「わかった」まで問題解決の過程が示されていたり、観察・実験で安全に注意するところを「きけん」マークで示したりして、見通しをもって観察・実験が行えるように構成されている。 <p><実感を伴った理解を図るための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○学習内容と関連した日常生活の事例を「資料」として紹介したり、学習内容が社会の発展に寄与している事例を紹介したりして、学びの価値を理解したり実感したりできるように構成されている。 <p><科学的な見方や考え方を養うための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○単元の始めには、今まで学んだことやこれから学ぶこととの関連がわかる工夫があったり、大きく見やすい写真や図を使ってあり科学的な見方や考え方を養う工夫がされている。
	<p style="text-align: center;">資料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○横に広いA B版で大きい写真やイラストを豊富に掲載している。 ○巻末には、図鑑としても使える資料性の高い読み物が掲載されている。 ○単元末の「確かめ」は、書き込み式になっているとともに、問題に関連するページが明示されている。 ○観察・実験について、児童が行っている写真やイラストが多く、児童主体で学習を進める意図が読める。
	<p style="text-align: center;">表記・表現</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○各学年の巻頭には、問題解決の過程を示した学習の順序が掲載されている。 ○「はてな」はピンク色、「わかった」はレモン色に統一されている。 ○全学年とも敬体で記され、重要な語句は太字で示されている。
<p style="text-align: center;">総括</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○各学年の巻頭に、キャラクターを使って問題解決の流れを示し、問題解決能力の育成を図る内容となっている。また、すべての単元の始めには、大きな写真を掲載し、児童の興味関心を高めている。さらに、各単元の始めには、前学年で学習したことやこれから学習することとの関連が示されている。 	

項目	書名 <h1 style="text-align: center;">わくわく理科</h1> <div style="text-align: right;">61 啓林館</div>
教育基本法、学校教育法の下、小学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり	<ul style="list-style-type: none"> ○学習内容に関わる写真や図を提示したり、児童が活動している写真等を提示したりすることで児童自らが意欲的に問題に取り組めるよう配慮している。 ○巻頭に学習の進め方を示し、見通しをもって、観察・実験等に取り組めるように工夫している。 ○単元末に「ひろげよう」のページを設け、実生活と関連した内容を扱うなどして、実感を伴った理解のための工夫を行っている。
特色	<p>内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫> ○単元の終わりに1ページを確保して振り返りを行うようになっている。また、重要語句は太字になっており、さらに下線も引かれていて注意を促すような工夫がみられる。 <思考力、判断力、表現力等を育成する工夫> ○観察の記録の仕方やノートのまとめ方など、どの点に気をつけて行った方がいいかが記載されている。「わくわく理科プラス」を使って書く活動を取り入れ表現力の向上を促す工夫がみられる。 <主体的に学習に取り組む態度を養う工夫> ○キャラクターに発言させるなどして、児童が主体的に思考できるような工夫をしている。実験の場合、手順等と結果や考察を別ページに掲載して、児童が自ら考えるような工夫をしている。 <見通しをもって観察、実験などを行うための工夫> ○巻頭に学習の進め方を示し、見通しをもって、観察・実験等に取り組めるように工夫している。また、観察や実験のページには矢印で流れを明示し、見通しをもたせる工夫がみられる。 <実感を伴った理解を図るための工夫> ○単元末に「ひろげよう」のページを設け、実生活と関連した内容を扱って、実感を伴った理解のための工夫をしいる。また、5、6年の単元末に日本の科学技術と実社会のつながりを示し、生活場面と理科のつながりを示している。 <科学的な見方や考え方を養うための工夫> ○「わくわく理科プラス」の中で、既習事項を書き込ませる欄があり、学習内容の系統を意識させる構成になっている。また、「科学の目で見てみよう！」では科学的な考え方のポイントについて具体例を示している。 <p>資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自然の不思議や美しさを感じさせる写真を多く取り入れている。 ○各学年とも巻頭で科学的事象へ興味をもつような写真を取り上げている。 ○地域資料集のページを設け、自分たちの身近な自然に興味をもたせるような工夫をしている。 ○観察・実験における安全配慮事項について、児童に分かりやすいマークを用いている。 <p>表記・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ○課題文は色を変えて地の文との違いを明確にしている。 ○本文は3年生が敬体で、4年生以上は常体で記され、考察の文章には下線が引かれている。 ○問題文の文やキャラクターのセリフを意味改行している。
総括	<ul style="list-style-type: none"> ○「わくわく理科プラス」という小冊子がついていて、学習のはじめと終わりに活用できるようになっている。 ○「理科につながる算数のまど」や「読んでみよう！理科の本」など算数科や国語科と連携を図る工夫がみられる。 ○5年や6年では、防災教育や減災教育の視点での「くらしを守る」という紙面を設けている。